



平成 25 年 7 月 22 日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

報道発表

韓国・ソウルで出港前報告制度に係る説明会を開催

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社（以下、「NACCS センター」という。）は、韓国のサービス・プロバイダー 3 社（K L N E T 社、サイバーロジテック社及び K T N E T 社）とそれぞれ共同し、平成 25 年 7 月 17 日（水）から 19 日（金）までの 3 日間、ソウルにて「出港前報告制度」に係る現地説明会を合計 3 回開催しました。

説明会の詳細については、別添 1 をご覧ください。

今回の海外現地説明会における主要ポイントとして、次の 2 点について参加者に誤解が生じることがないように、十分説明を行いました。

1. 海外報告者からの電子的な報告方法については、
 - ① NACCS に自社システムをゲートウェイ接続し、報告を実施する方法
 - ② NACCS と接続契約済のサービス・プロバイダーを利用し報告を実施する方法の 2 つの方法に限定されている旨を丁寧に説明いたしました。（別添 2 参照）
2. 報告義務者については、
 - ① 「AMR」の報告義務者は、外国の船積港を日本向けに出港する際に、オーシャン（マスター）B/L に基づく積荷情報を把握している運送契約の当事者である外国貿易船の運航者等（船会社等）
 - ② 「AHR」の報告義務者は、ハウス B/L に基づく積荷情報を把握しているに荷送人（利用運送事業者等）のうち、運航者等と運送契約を締結する者であることを参加者の納得が得られるまで丁寧に説明いたしました。

※ 当社は、「出港前報告制度掲示板」を開設し、同制度に関する全ての情報を一括して掲載しておりますので、ご参照ください。

<http://www.naccscenter.com/afr/indexj.html>

【問合せ連絡先】

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社
企画部 神例・荒巻
E-mail: afr-c@naccs.jp

現地説明会の模様

1. KLNET 社との共同開催による現地説明会

- ① 開催日 2013年7月17日(水) 14:30~17:00
- ② 場 所 KOREA NEARSEA FREIGHT CONFERENCE 大会議室
- ③ 参加者 船会社、NVOCC等 約50名
- ④ 説明会の概要

当社及び KLNET 社から出港前報告制度に係るシステムの使用方法、海外サービス・プロバイダーの役割、申請者 ID の取得方法等の説明を実施した。また、説明終了後、参加者からは、報告義務者の定義、情報登録や修正のタイミング、トランシップの場合における対応、海外サービス・プロバイダーとの契約方法等、実務的なテーマについて熱心に質疑応答が行われた。

○ONACCS センターによる説明



○KLNET 社による説明



○質疑応答での説明



○参加者



2. CYBERLOGITEC 社との共同開催による現地説明会

- ① 開催日 2013年7月18日(木) 14:00~16:00
- ② 場所 CYBERLOGITEC 社 大会議室
- ③ 参加者 船会社、NVOCC 等 約40名
- ④ 説明会の概要

当社及び CYBERLOGITEC 社から出港前報告制度に係るシステムの使用方法、海外サービス・プロバイダーの役割、申請者 ID の取得方法等の説明を実施した。説明終了後、参加者からは、報告義務者の定義、情報登録や修正のタイミング、トランシップの場合における対応、海外サービス・プロバイダーとの契約方法等、実務的なテーマについて熱心に質疑応答が行われた。

○NACCS センターによる説明



○CYBERLOGITEC 社による説明

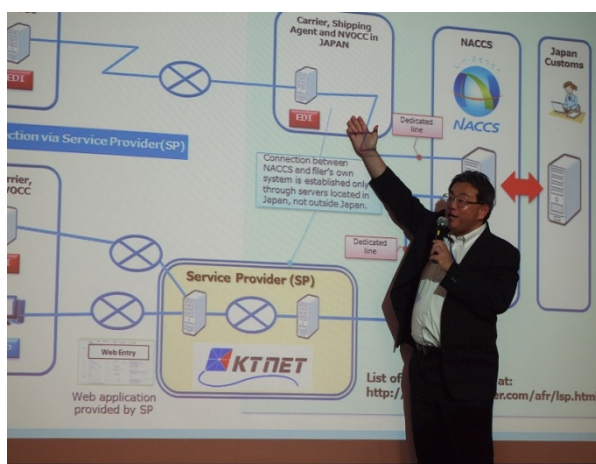


3. KNET 社との共同開催による現地説明会

- ① 開催日 2013年7月19日（金）15:00～16:30
- ② 場所 KOREA INTERNATIONAL TRADE ASSOCIATION 大会議室
- ③ 参加者 船会社、NVOCC等 約30名
- ④ 説明会の概要

当社から出港前報告制度に係るシステムの使用方法、海外サービス・プロバイダーの役割、申請者IDの取得方法等の説明を実施した。説明終了後、参加者からは、報告義務者の定義、情報登録や修正のタイミング、トランシップの場合における対応、海外サービス・プロバイダーとの契約方法等、実務的なテーマについて質疑応答が行われた。

○NACCS センターによる説明



○参加者

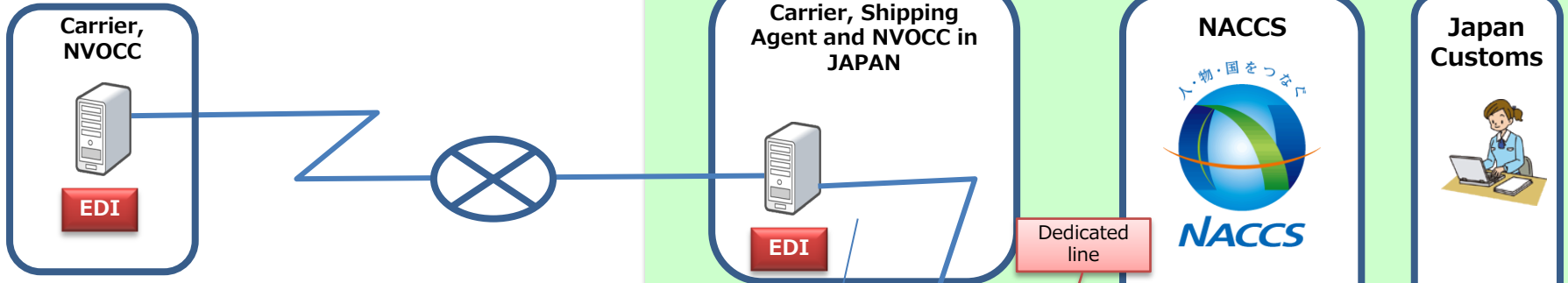


Connection Schemes

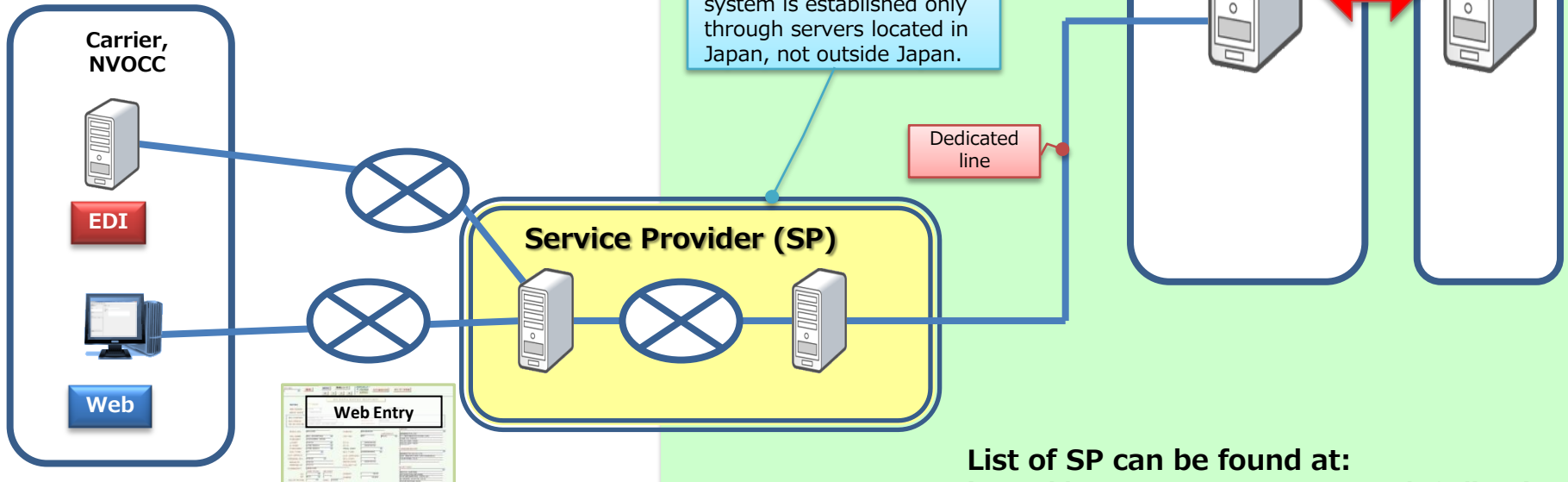
Outside Japan

In Japan

1. Gateway connection using filers' own systems



2. Connection via Service Provider (SP)



Connection between NACCS and filer's own system is established only through servers located in Japan, not outside Japan.



Web application provided by SP

List of SP can be found at:
<http://www.naccscenter.com/afr/lsp.html>